

2020年10月15日

## ICD 国際会長および日本部会国際理事報告

ICD 国際会長・国際理事（日本部会）

千田 彰

平素は International College of Dentists の活動、運営に深いご理解とご協力を頂き有難うございます。心から感謝申し上げます。今般、ご指示により ICD 国際会長として、また日本部会国際理事会として ICD 本部の活動や運営状況をご報告申し上げます。

国際本部としては、**Website:** [www.icd.org](http://www.icd.org)、**TCT:** The College Today、雑誌 **Globe**（印刷媒体およびネット配信版）、**Facebook** ICD ページ、**Youtube** など様々なメディアソースで ICD すべての情報を、逐次 Fellow に案内しています。[www.icd.org](http://www.icd.org) から **Media Center** のページに入ってお目通し頂ければ幸いです。数年に遡って検索できます。

さて地球上の私たちすべてが、COVID-19 により、何らかの形で未曾有な被害、打撃、影響を受けています。そしてまだまだ、この“トンネルの出口”を見ることができないのが現実です。私ども ICD も本部、各部会、Region が多大な影響、被害を受けています。ICD Fellow のほとんどが歯科医師であり、したがって ICD 組織としての影響だけでなく、歯科医療界として影響を被っています。ある部会では、診療所が閉鎖され、あるいは受診患者が極端に減少し、診療所スタッフへの給与支払い、ICD の年会費納入に困っているという実態を聞きました。（本部から各部会に被害・影響状況および対策について報告依頼：5 月に取りまとめ 日本部会事務局に原本を保管します）

こうしたことから、私は国際会長として、4 月 14 日に“**Impact of COVID-19 on ICD**”と題して声明を発し、全世界の Fellow が各々の国や地域の公的な指示に基づき、また ICD の Dental Safety Team、WHO、CDC などの情報を得て活動して欲しい旨、そして本年 11 月に計画されていた大切な **ICD100 周年記念祝賀会・各種行事および 2020 年度国際理事会の延期**を案内させて頂きました。また Project 委員会および関係者と協議して 4 月 28 日には“**Confronting Covid-19**”と題して、“**First-ever ICD Online Webinar**”を開催しました。このオンラインセミナーは、ICD Fellow はじめ全世界の歯科医療者に好評であり、6 月 10 日にも“**A Tale of Two Countries**”と題し、また 9 月 15 日には“**Superbugs: Antibiotics resistant worldwide killers**”と題したオンラインセミナーを開催しました。

100 周年祝賀会および関連行事の延期にあたっては、日本部会の皆様にも大変なご迷惑をおかけしました。深くおわびします。しかしながらご高承の通り、関連の協力のもと **2021 年 9 月 22 日（国際人道援助シンポジウム・100 周年記念祝賀会、20~21 日国際理事会関係開催）に延期開催**することになりました。詳細は Website をご覧ください。

また COVID-19 の影響により、私の国際会長職としての最も大切な仕事である各部会、地域の訪問や新フェロー認証が、ほとんどキャンセルとなりました。さらにこの緊急性を鑑

2020年10月15日

みて私、国際会長を含めすべての**役員任期を1年延長**することになりました。国際理事会の中止・延期、役員任期の延長などは、定款や規則との整合性を十分検討しましたが、最終的には、来たる**10月29日午前7時（アメリカ東部標準時間）に緊急・臨時Web国際理事会を開催**して、100周年祝賀会と国際理事会の延期、役員任期の延長についての追認、今回のような世界的”危機”に対応するための規則の改正など議題と時間を限って審議することになりました。

本部では**現事務局長（SG: Secretary General）の Dr. John Hiterman の引退**と新 SG の選考が進められていました。**新 SG は元国際会長、前アメリカ部会会長の Dr. Joseph Kenneally が選ばれました**が、加えて本部事務局事務室をどうするか、住所を何処すべきかが新 SG と検討中です。現在のところ時代を反映し、**本部は本部 Website** である [www.icd.org](http://www.icd.org) におくこととなります。Operating Manager の Ms. Chelsea Segren は、現在の本部事務局および彼女の自宅があるアメリカ・ミシガン州・フリント市にごく狭い事務所を借りて勤めることになり、この事務所を郵便物などの受け取り場所、つまり「物理的な本部事務所」にします。また新 SG の Joe（愛称）も自宅から Web を利用した勤務にするようで、新時代に相応しい対応になるはずで、これらの提案と承認も来たる 10 月 29 日の臨時国際理事会で行われる予定です。

また**レバノン・ベイルートでの薬品（爆発物）の爆発事故**が発生し、多数の犠牲者や甚大な損害が発生しました。隣国シリアの難民も多いことから私たちは当然その方々の被害に注目したのですが、一方で ICD Fellow（Section X, Middle East）関係にも負傷者があり、また自宅、診療室にも損害があったようです。国際会長としてお見舞いの手紙をお送りしました。COVID-19 やシリア紛争の危機を抱えているレバノンの皆さん大変さを改めて感じています。

最後に、繰り返しですが私たち ICD Fellow にとって大いなる誇りである”ICD 創設 100 周年”を祝う祝賀会、人道援助活動に関するシンポジウムが、2021 年 9 月 22 日に名古屋東急ホテルにて開催されます。詳細は [www.icd.org](http://www.icd.org) あるいは [www.icd100.org](http://www.icd100.org) でご覧の上、参加登録されますようお願い申し上げます。

以上、簡単ですが国際会長として国際本部の現況を報告させて頂きました。日本部会の Fellow の皆様のご健勝をお祈りし、引き続きのご支援をお願い申し上げます。